

<p>概観</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●9月の始まりは登園や集団生活のリズムになじめない子どもも見受けられる。園生活を取り戻すのも早い。一人ひとりが自分の思いを素直に出せるようにしていきたい。 ●全身運動が活発になり、いろいろな運動をすることを喜んでいる。友だちと関わりながら体を動かす心地良さを味わわせた。友達との遊びを通して生活の決まりや遊びのルールの大切さに気付くようにしたい。 ●身の回りの自然物や事象、いろいろな材料などに興味をもち、関わりをもったり、試したりするようになる。一人ひとりの思いをじっくりと表現する楽しさを味わえるようにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●周りの人や物への興味や関心が強くなり、自分もやってみようとする意欲や、頑張ろうとする気持ちが見られる。一人ひとりの子どもの気持ちや考えを理解して受容し、その子なりにやり遂げた満足感もてるようにしたい。 ●気の合う友達との遊びを通して、自分の気持ちを相手に伝えたり、話を聞いたりして、友だちと遊ぶ楽しさを味わわせた。 ●自分の思いや感じたことをその子なりに表現している。ありのままに表現する楽しさを味わえるようにしたい。 ●保育教諭と会話を楽しんだり、一緒に遊んだりして、保育教諭への親しみが増している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●保育教諭や友だちと関わって過ごすことを楽しいと感じている。友達との心地良い関わりなどの成長を大切にしていきたい。 ●新しい活動にも進んで取り組み、試したり工夫したりして遊ぶようになる。5歳児クラスになる期待を高めながら遊びや生活習慣について、自主的に取り組む態度を養いたい。 ●決まりを守る大切さが分かってきて、ルールのある遊びも楽しむようになる。トラブルが起きたときは保育教諭の援助に支えられて解決しようとする姿が見られる。仲の良い友だちとの遊びを通して、いろいろな考えを膨らませたり、相手に自分の考えを伝えたりして、遊びを進められるようにしたい。 ●冬から春へと移る季節の変化への気付きを捉え、身近な自然への好奇心を高めていきたい。 ●一人ひとりがのびのびと表現する姿を捉えて、その子らしさを大切に。
<p>期</p>	<p>Ⅲ期（9～10月）</p>	<p>Ⅳ期（11～12月）</p>	<p>Ⅴ期（1～3月）</p>
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●いろいろな運動遊びを喜んで、様々な体の動きを楽しむ。 ●いろいろな素材に親しみ、イメージや思いを自分なりに表現して楽しむ。 ●友だちと関わる中で、自分の思いを、動きや言葉で表し、遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●遊びや生活の中で、友だちと関わりながら遊ぶ楽しさを味わう。 ●自分たちで遊びの場をつくり、見たこと、感じたことを様々な方法で表現したりすることを楽しむ。 ●身近な自然と十分にふれあい、興味をもって見たり触れたり、遊びに取り入れたりする。 ●自分たちの生活の場を整えたり準備したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●いろいろな遊びに興味をもち、保育教諭や友だちと関わり、自分の力を発揮して、活動に取り組む。 ●友だちと一緒に試したり、工夫したりして遊びを進める楽しさを味わう。 ●自分でできることは自分で行ない、生活する態度を身につける。 ●進級することへの期待をもつ。
<p>保育目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●体を十分に動かしたり休息したりして、健康な生活に必要な習慣を身につける。 ●いろいろな遊具や用具を使い、戸外で体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ●みんなと一緒に運動する楽しさを味わう。 ●休息の仕方が分かり、運動や食事の後は静かに過ごす。 ●食事のマナーがわかり旬の食材から季節感を感じて味わったり、友だちと一緒に食事をしたりする。 ●安全な遊び方や災害時の行動の仕方を知り、気を付けて行動する。 ●簡単な決まりやルールの大切さに気付く。 ●気の合う友だちとの関わりを楽しみ、自分の思いを伝えようとする。 ●地域の高齢者など、身近な人に関わり、親しみをもつ。 ●共同の遊具や用具を大切に、みんなで譲り合って使ったり、片付けたりする。 ●身近な秋の自然にふれ、数、量、形、色などに興味、関心を持ち分けたり集めたり確かめたりする。 ●経験したこと、見たこと、感じたこと、考えたことを保育教諭や友だちに話す。 ●絵本や童話に親しみ、興味をもって聞き、想像することでお話の世界を楽しむ。 ●音楽に合わせて体を動かしたり、感じたままを自由に表現したりして楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●戸外でのルールのある遊びに喜んで参加し、友だちと思いきり体を動かすことを楽しむ。 ●クラスのみならず一緒に収穫したものを食べる楽しさを味わう。 ●みんなで使う物を大切にしたり、決まりの大切さに気付いたりし、友だちと楽しく生活する。 ●友だちと遊びの場や遊びに必要な物を作り、考えたことを具体的に表して遊ぶ。 ●自然物などを集めたり、数えたり、分けたり並べたりすることに興味をもつ。 ●初冬の自然や年末の生活に変化のあることに気付く。 ●身近な自然の変化や彩りに気付いたり、自然物を使って遊んだりすることを楽しむ。 ●身近な地域の出来事に関心をもち、生活に取り入れる。 ●園外での集団で行動する過ごし方を知る。 ●自分の気持ちを相手に伝え、友だちの話をよく聞こうとする。 ●絵本や童話などを喜んで見たり、聞いたり、ストーリーを再現したりして、いろいろな表現を楽しむ。 ●歌や簡単な合奏をみんなで楽しむ。 ●いろいろな材料を自分のイメージに合わせて見立て、工夫して使う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の健康に関心をもち、様々な食べ物を進んで食べる。 ●基本的な習慣を身につける。 ●行事を通して、伝統的な日本の食生活や遊びを知る。 ●戸外で全身を思い切り動かして遊び、みんなと一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 ●簡単なルールをつくり出し、友だちと一緒に遊びを楽しむ。 ●園庭の危険な物や危険な箇所を知り、安全に気を付ける。 ●よいことと悪いことがあることに気付く、考えながら行動する。 ●自分なりの目当てや見通しをもって行動しようとする。 ●園行事などで自分の役割をもち、友だちと一緒に楽しんで進める。 ●友だちと楽しく生活する中で、決まりの大切さに気付く。 ●身近な物や遊具に興味をもって関わり、試したり工夫したりして遊ぶ。 ●冬から春にかけての自然事象に興味や関心をもち、感動したり疑問をもったりする。 ●草木や風の様子などに気付く、冬から春への自然の変化を感じ取る。 ●生活や遊びの中で数量や図形や、文字などに興味をもつ。 ●自分の思ったことや考えを、言葉で相手に伝えようとする。 ●保育教諭や友だちの話を最後まで聞こうとする。 ●友だちと共通のイメージをもち、自分の思ったことを動きや言葉や音楽などいろいろな方法で表現して遊ぶことを楽しむ。 ●遊びに必要な物を工夫して描いたり作ったりして、それを使って友達と遊ぶ。 ●作品を見たり飾ったりすることに興味をもつ。 ●1年間の作品を見たり整理したりして、進級への期待をもつ。 ●進級することを楽しみにし、教室の準備をする。 ●年長児にあこがれの気持ちをもち、教えてもらったり真似をしたりして遊ぶ。
<p>環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●園内の整備と遊具の点検を行ない、体を動かしたくなる環境をつくり十分に運動が楽しめるようにする。 ●友だちとの関わりがもてる場を工夫し、一緒に活動する喜びが味わえるようにする。 ●一人ひとりの子どもがそれぞれの興味に応じた活動に取り組めるような素材や用具を十分に用意し、やってみようとする意欲もてるようにする。 ●クラスのみならず鬼ごっこやゲームなど、園内の場を調整して繰り返してできる環境づくりをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども同士と一緒に活動する楽しさが味わえるように交流の場を設け、考えたことを形にして伝え合えるような素材を用意する。 ●寒さの中でも戸外で遊べるように簡単なルールのある集団遊びなど、体を十分に動かして楽しさを味わえるような遊びを提示する。 ●体全体で季節を感じて遊べるように、冬の自然との出会いの機会を生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ●年末年始後の冬休み明けは、家庭での経験を話したり聞いたりする喜びを味わえるような機会をつくる。 ●思ったことをいろいろな表現できるような材料を用意し、自分で考えたり、試したり、工夫したりして遊びを進められるようにする。 ●5歳児クラスの担任と連絡を取り合い、5歳児からいろいろな当番の仕事の仕方を教えてもらえる場や機会を設ける。 ●ごっこ遊びなどにじっくり取り組めるよう遊びの場を構成し、展開に応じて変化させていく。
<p>援助</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★飼育物や捕まえた虫などの触れ合いの中で、機会を捉えて生長や命について気付くようにする。 ★保育教諭も子どもと一緒に体を動かす、運動遊びの楽しさを味わえるような、日常の体験を重ねて運動会へつながっていくことを大切に。 	<ul style="list-style-type: none"> ★季節や、事象の変化にふれる機会をもつようにし、保育教諭自身が身近な事象に敏感に受け止め、子どもの感動や発想を引き出し、豊かになるように援助する。 ★相手との思いが通じ合わない場面では、様子を見ながら双方の気持ちを受け止め、相手の気持ちに気付くようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ★同じ目的や興味をもつ友だちの考えが伝わるようにいろいろな方法で援助し、自分達で遊びが展開できるようにする。 ★友だちとの関わりの中で一人ひとりのアイデアを認めたり、取り入れたりするように援助し、それぞれの子どもの自己発揮できるようにする。
<p>連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●運動会などの園行事の意味や考え方を理解して参加してもらうために、具体的な内容や方法・過程について知らせる。 ●保護者が子どもと一緒に活動を楽しむことを通じて、子どもの成長の様子や取り組みとしている意欲など、子どもの姿を理解しやすいように伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●年末年始の過ごし方など、親子でふれあいがより深まるような生活経験や遊びの情報を伝えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの成長の姿を具体的に保護者に知らせ、保育教諭と保護者とで成長の喜びを共有する。 ●基本的な生活習慣や態度、遊び方、友だち関係などの日常生活の仕方など、保護者の不安や疑問を受け止めるとともに、進級に向けての課題について保護者と共に考え、期待もてるようにしていく。
<p>自立の園生活</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●生活リズムをスムーズに取り戻せるようにしていく。子ども同士の模倣や認め合いを大切に、表現する意欲や創造性が育まれるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分もやってみようとする意欲や頑張る気持ちを支えていき、自分なりの表現方法や、やり遂げる満足感、達成する経験が味わえるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●園生活を心地良く過ごす態度が身につけていくようにする。子ども一人ひとりが自分の力を発揮し、友だちと関わりながら生活していく喜びを味わえるようにする。

